

2008 年 6 月号

(年 4 回発行)

# 大阪金属プレス工業会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

## ▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- ◆ 第 32 回 通 常 総 会..... 2
- ◆ 平成 19 年度 会員異動状況..... 3
- ◆ 平成 20 年度 事業計画書..... 4
- ◆ 平成 20 年度 行事予定表..... 6
- ◆ 平成 20 年度 収支予算書..... 7
- ◆ 第 2 回 経営・労務研究会の案内.....12
- ◆ 産業廃棄物セミナーのご案内.....13
- ◆ I S O 旬 報.....14

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>



# 第32回 通常総会

本会の第32回通常総会が、去る5月20日（火）午後16時30分から、たかつガーデン3階「カトレア」の間において開催された。

中辻 康総務担当委員長より、総会の成立（正会員111名の内、委任を含め81名が出席）が報告された後、同氏の司会で進められた。

はじめに吉田会長から「今日は、第32回通常総会に多数のご参加を賜りまして厚くお礼申し上げます。平素は工業会諸事業の推進にご理解ご協力を賜りこの場を借りまして厚くお礼申し上げます。さて、私たち中小ものづくり業界にも一昨年度から、経済産業省の手厚い施策いわゆる、サポーターインダストリー支援法（サポイン法）が施行されました。各企業におかれましては、是非ともこの施策を大いに活用され、それぞれのお会社の経営基盤の強化に役立てて頂きますよう、工業会としまして、4つの委員会をフルに機能させてまいる所存です。景気の方も概ね順調に推移してきましたが、昨年来からの米国の金融不安や原油価格の更なる高騰、レアメタル及び主原料の鋼材の値上がりなどの影響により、厳しい経営の舵取りを強いられてきています。今日は、定款の変更等議案もございますが、活発なご審議のほどよろしくお願い致します。」と挨拶があった。

次いで、中辻委員長から出席者に対し、本総会の議長の選任について諮ったところ、吉田会長を満場一致で選任した。議長は、議事録署名人に飯田 勝氏（飯田金属工業㈱）と夏山享啓氏（夏山金属工業㈱）の両名を指名し議事に入った。



## 【第1号議案】平成19年度事業報告及び収支決算について

議長は、池田事務局長をして平成19年度に当工業会が実施した事業内容及び会員の異動状況ならびに同年度における収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について、それぞれ配布した総会資料により報告させた。

次いで、宇良 浩監事から前記の決算関係書類を監査したところ、いずれも正確且つ適正であることを確認した旨の監査報告がなされた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

## 【第2号議案】平成20年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

議長は、池田事務局長をして平成20年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について、配布した総会資料に基づき説明させた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

### 【第3号議案】定款の一部変更について

議長は、池田事務局長をして定款の変更（案）の主旨説明をさせた上、議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

変更概要はつぎのとおり。

- (1) 変更条項 定款第2章・第11条(1) 副会長を3名から2～4名
- (2) 変更理由 事業運営組織改革等による担当副会長の増・減員に弾力的に対応するため。

第3号議案可決に伴い、先の理事会で推薦されていた、夏山享啓理事の副会長就任が確認された。

以上をもって、第32回通常総会の全議案の審議を終了したので、吉田議長は審議協力への謝辞述べ降壇した。17時35分、中辻委員長は閉会を宣した。

### ■平成20年度事業計画（案）及び収支予算（案）別掲

その後、会場を8階「たかつ東中」の間に移し、会員45名・来賓10名の総勢55名による懇親会が開催された。



### 平成19年度 会員異動状況

|       | H19.4.1 | 入 会 | 退 会 | H20.4.1 |
|-------|---------|-----|-----|---------|
| 正 会 員 | 110     | 5   | 4   | 111     |
| 賛助会員  | 23      | 0   | 0   | 23      |
| 特別会員  | 1       | 0   | 0   | 1       |
| 計     | 134     | 5   | 4   | 135     |

### 〔入会〕

- (株)マール金属製作所
- (株)旭東電機産業
- 淡路パッキン(株)
- (株)ライト
- (株)河合製作所

### 〔退会〕

- 水沼金属(株)
- (株)光金属製作所
- (株)青戸金属
- (株)ケイ・エム・アイ
- 川中精器工業(株)  
(H20.4.28 付)



## 平成20年度事業計画(案)

### 1 総務委員会

#### 1-1[総務関係]

- (1) 総会・理事会・委員長会を通じて、工業会の運営基盤の強化をはかる。
- (2) 新たに特別委員会を設置して、事業の活性化ならびに将来ビジョンを策定する。
- (3) 定款の一部を改定し、副会長を現行の3名から2～4名とする。
- (4) 青年部会の組織の拡大及び活性化等を支援する。

#### 1-2[広報関係]

- (1) 機関誌「プレス会報」を年5回発刊し、話題性のある記事や特集記事等を掲載して、誌面の充実をはかると共に会員企業間のPR及び誌上交流をはかる。また、ホームページにも掲載する。尚、会員以外にはホームページを勧奨し、ペーパーレスをはかる。
- (2) 「プレス短報」をタイムリーにFAXで会員に送達し、仕事依頼の紹介、業界関連情報や行政ニュース等を伝達する。(電子メールと併用)  
また、ホームページにも最新情報及び行事予定等を掲載する。
- (3) 「入会のしおり」及びホームページ等を駆使して、会員の増強をはかる。

#### 1-3[交流関係]

- (1) 総会及び新年賀詞交歓会時に懇親会を開催し、会員相互の親睦・交流をはかる。
- (2) 経営者懇話会を開催し、経営上の諸問題について情報交換・相互援助の場を提供する。  
また、忘年会を開催して親交を深める。

### 2 経営委員会

#### 2-1[経営関係]

- (1) 新年賀詞交歓会時等に記念講演会を開催する。
- (2) OMSA-HPのコンテンツの充実をはかり、会員のニーズに応える。

#### 2-2[労務関係]

- (1) 昨年に引き続き、地引き網&BQ大会(時期を7月から3月に変更)を開催し、会員相互の親睦・厚生活動に寄与する。
- (2) 労務管理研究会をシリーズ(5回)で開催し、会員企業の労務改善及び新たに施行された労働契約法や改定パートタイマー法等各種法令を学習する。
- (3) 毎年好評の家族ハイキングを本年も実施する。

### 3 安全・技術委員会

#### 3-1[安全関係]

- (1) 労働災害調査の回答率(前年度50%)を高め、災害防止対策及び労災収支改善をはかり、更なる労働保険率の軽減をはかる。
- (2) 日金協が主催するプレス安全・環境大会(福島)に積極的に参加する。見学会を復活。
- (3) プレス安全教育を実施するほか、プレス機械作業主任者技能講習等の安全教育受講を支援する。

#### 3-2[技術関係]

- (1) 技能検定(プレス加工・金型製作)の実技試験を府より委嘱をうけて、公正且つ円滑に実施する。
- (2) 技能検定(学科・実技)の準備講習会を開催し、同検定受検者の合格率向上をはかる。
- (3) 日金協主催のプレス加工技術研究会(大阪会場)に協賛参画し、最新技術の習得を助成する。
- (4) 実践的な品質管理教育のテーマを決めて継続的に実施し、技術・技能のスキルアップをはかる。また、プレス加工・金型の基礎知識講習会を開催する。
- (5) 先端企業ならびにプレス機械メーカー・周辺機器メーカー等を見学し、自社の生産性の向上や工程設計に役立てる。

### 4 ISO 推進委員会

- (1) 「ISO 旬報」を年4回発行、ISO9001 のグループ QMS、ISO14001 のネット EMS を詳しく解説し導入を勧奨する。
- (2) 専門家を招請して、「ISO14001 内部監査員養成セミナー」を格安で開催する。
- (3) 品質関連セミナーは中産連に委託しシリーズ化する。(3年度目)
- (4) ISO 推進委員会は年6回開催するが、研修会やセミナーの開催と併せて無理なく全員が出席できるようにする。

### 6 青年部会

- (1) 組織の拡大及び活性化のため、会員の増強をはかる。
- (2) 新会長のもと、活発な事業展開をはかり、次代を担う後継者の育成に努める。

### 7 年間行事予定表(案)

平成20年度 行事予定表 (案)

| 総務委員会                                            |                                                | 経営委員会      |                                             | 安全・技術委員会   |                               | ISO推進委員会                             | 青年部会                                          | 日本金属プレス工業協会                                                                  |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------|------------|-------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 総務関係                                             | 広報関係                                           | 交流関係       | 経営関係                                        | 経営・労務管理研究会 | 安全関係                          | 技術関係                                 |                                               |                                                                              |
| 10月 第1回正副委員長会議<br>4月 第1回正副委員長会議<br>17日 第100回理事大会 |                                                |            | 22日 経営・労務管理研究会 [1]                          |            | 平成19年度<br>労働災害調査              |                                      | 24日 総会                                        | 17(木)～20(日) インテックス大阪<br>「金属プレス加工技術展」(金型展)<br>18日(金) 特別講演会<br>下旬 第1回理事会(書面表決) |
| 5月 第32回通常総会                                      |                                                | 20日 総会懇親会  |                                             |            |                               | 13日 第1回委員会                           | 20日 親会総会                                      | 21日 第35回通達部総会<br>下旬 全国事務局長連絡会議                                               |
| 6月                                               | 上旬 プレス会報4～6月号<br>下旬 第1回総務委員                    |            | 24日 経営・労務管理研究会 [2]<br>下旬 第1回経営委員会           |            | 10日 技能検定委員会<br>下旬 安全・技術委員会    | 上旬 ISO旬報発行                           | 20日 例会                                        | 27日 金属プレス加工技術研究会                                                             |
| 7月                                               |                                                |            |                                             |            |                               | 下旬 第2回委員会<br>下旬 工場見学会                | 24日 OB・現役合同懇親会                                | 2日 第1回安全・環境委員会<br>中旬 第2回理事会<br>下旬 第1回交流委員会                                   |
| 8月                                               |                                                | 下旬 経営者懇話会  | 下旬 経営・労務管理研究会 [3]                           |            |                               | 中旬 ISO旬報発行<br>上旬 品質セミナー<br>上旬 第3回委員会 | 下旬 例会                                         | 中旬 安全・環境委員会<br>金属プレス加工技術研究会                                                  |
| 9月                                               |                                                |            |                                             |            | 下旬 工場見学会                      |                                      | 中旬 家族例会                                       | 上旬 第2回安全・環境委員会<br>下旬 金属プレス加工技術研究会                                            |
| 10月                                              | 上旬 第2回正副委員長会議<br>中旬 第2回正副委員長会議<br>中旬 第101回理事大会 |            | 下旬 経営・労務管理研究会 [4]                           |            | 3・4日 ISO 14001<br>内部監査員養成セミナー | 中旬 3地区合同交流会<br>(愛知主催)                | 中旬 3地区合同交流会<br>(愛知主催)                         | 上旬 第2回交流委員会                                                                  |
| 11月                                              | 中旬 プレス会報10～12月号                                |            | 上旬 第10回健康ハイクンギ<br>中旬 第24回プレス安全・<br>環境大会(福島) |            | 中旬 優良工場見学会<br>中旬 第4回委員会       | 中旬 優良工場見学会<br>中旬 第4回委員会              | 中旬 講師例会                                       | 中旬 第3回理事会<br>中旬 第3回安全・環境委員会<br>13・14日 第24回プレス安全・環境大会<br>下旬 金属プレス加工技術研究会      |
| 12月                                              | 中旬 第3回正副委員長会議<br>中旬 第102回理事大会                  |            | 下旬 経営・労務管理研究会 [5]                           |            |                               | 下旬 ISO旬報発行                           | 中旬 忘年会                                        |                                                                              |
| 1月                                               | 上旬 プレス会報新年号                                    | 下旬 新年賀詞交歓会 |                                             |            |                               | 下旬 第5回委員会                            | 下旬 親会新年賀詞交歓会                                  | 下旬 金属プレス加工技術研究会                                                              |
| 2月                                               |                                                |            | 下旬 第2回経営委員会                                 |            | 下旬 第2回安全・技術委員会                |                                      | 中旬 工場見学会                                      |                                                                              |
| 3月                                               | 中旬 プレス会報1～3月号                                  |            | 中旬 第4回引き継ぎ網&BQ<br>(泉府市・岡田浦漁港)               |            | 上旬 プレス安全教育                    | 中旬 ISO旬報発行<br>中旬 第6回委員会              | 中旬 例会                                         | 上旬 金属プレス加工技術研究会<br>中旬 第4回理事会                                                 |
| 備考                                               | ■事業活性化委員会(仮称)<br>の設置                           |            |                                             |            | 11/1～7 プレス安全強調週間              |                                      | 会長 朝田武志<br>副会長 朝田武志<br>総務幹事 宮本 保<br>(朝田武志事務所) |                                                                              |

## 第5 平成20年度 収支予算（案）

### 1 収支予算(案)総括表(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

#### (1) 収 入 の 部

(単位：円)

| 科 目             | 平成 19 年度予算額 | 平成 19 年度決算額 | 平成 20 年度予算額 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 入 会 金 収 入       | 20,000      | 20,000      | 20,000      |
| 会 費 収 入         | 13,824,000  | 13,857,895  | 13,992,000  |
| 事 業 収 入         | 4,071,000   | 4,713,400   | 4,630,000   |
| 補 助 金 収 入       | 1,000,000   | 821,777     | 200,000     |
| 繰 入 金 収 入       | 1,000,000   | 1,000,000   | 1,500,000   |
| 雑 収 入           | 400,000     | 1,268,917   | 300,000     |
| 当 期 収 入 合 計(A)  | 20,315,000  | 21,681,989  | 20,642,000  |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 17,796,913  | 17,796,913  | 18,256,053  |
| 収 入 合 計(B)      | 38,111,913  | 39,478,902  | 38,898,053  |

#### (2) 支 出 の 部

(単位：円)

| 科 目                  | 平成 19 年度予算額 | 平成 19 年度決算額 | 平成 20 年度予算額 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| 事 業 費                | 8,808,000   | 9,579,943   | 9,004,000   |
| 管 理 費                | 11,227,000  | 11,442,906  | 11,388,000  |
| 積 立 金 支 出            | 200,000     | 200,000     | 200,000     |
| 予 備 費                | 80,000      | 0           | 50,000      |
| 当 期 支 出 合 計(C)       | 20,315,000  | 21,222,849  | 20,642,000  |
| 当 期 収 支 差 額(A-C)     | 0           | 459,140     | 0           |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額(B-C) | 17,796,913  | 18,256,053  | 18,256,053  |

## 2 平成20年度一般会計収支予算(案) (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

### (1) 収入の部

(単位：円)

| 科 目 |   |                 | 平成19年度     | 平成19年度     | 平成20年度     | 備 考                  |
|-----|---|-----------------|------------|------------|------------|----------------------|
| 大   | 中 | 小 科 目           | 予 算 額      | 決 算 額      | 予 算 額      |                      |
|     |   | 入 会 金 収 入       | 20,000     | 20,000     | 20,000     |                      |
|     |   | 入 会 金           | 20,000     | 20,000     | 20,000     | 見込み4社                |
|     |   | 会 費 収 入         | 13,824,000 | 13,857,895 | 13,992,000 | 135社 (H20.4.1現在)     |
|     |   | 正 会 員           | 11,208,000 | 11,274,195 | 11,376,000 | 111社                 |
|     |   | 特 別 会 員         | 156,000    | 156,000    | 156,000    | 1社                   |
|     |   | 賛 助 会 員         | 2,460,000  | 2,427,700  | 2,460,000  | 23社                  |
|     |   | 事 業 収 入         | 4,071,000  | 4,713,400  | 4,630,000  |                      |
|     |   | 競 技 会 会 費       | 180,000    | 371,000    | 290,000    | 地引き綱大会、家族ハイキング       |
|     |   | 研 修 会 費         | 695,000    | 520,000    | 690,000    | ISO 内部監査員養成・品質セミナー   |
|     |   | 講 習 教 材 費       | 862,000    | 673,000    | 900,000    | 技能検定準備講習会(実技・学科)     |
|     |   | 検 定 協 力 費       | 1,274,000  | 1,082,400  | 1,340,000  | プレス加工 80 名、金型製作 20 名 |
|     |   | 見 学 会 費         | 60,000     | 800,000    | 90,000     | 安全・技術委員会             |
|     |   | 懇 親 会 費         | 1,000,000  | 1,267,000  | 1,320,000  | 総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会     |
|     |   | 補 助 金 収 入       | 1,000,000  | 821,777    | 200,000    |                      |
|     |   | た ん ぼ ぼ 計 画     | 1,000,000  | 682,337    | 200,000    | 第3年目(アフターケア)         |
|     |   | 大阪府海外研修費        | 0          | 139,440    | 0          |                      |
|     |   | 繰 入 金 収 入       | 1,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  |                      |
|     |   | 運営強化資金積立金取崩     | 1,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  | 残高 250万円             |
|     |   | 雑 収 入           | 400,000    | 1,268,917  | 300,000    |                      |
|     |   | 雑 収 入           | 400,000    | 1,268,917  | 300,000    | 日金協協賛金、保険手数料他        |
|     |   | 当 期 収 入 合 計 (A) | 20,315,000 | 21,681,989 | 20,642,000 |                      |
|     |   | 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 17,796,913 | 17,796,913 | 18,256,053 |                      |
|     |   | 収 入 合 計 (B)     | 38,111,913 | 39,478,902 | 38,898,053 |                      |



## (2) 支出の部

(単位：円)

| 科 目 |   |               | 平成19年度    | 平成19年度    | 平成20年度    | 備 考                  |
|-----|---|---------------|-----------|-----------|-----------|----------------------|
| 大   | 中 | 小 科 目         | 予 算 額     | 決 算 額     | 予 算 額     |                      |
|     |   | 事 業 費         | 8,808,000 | 9,579,943 | 9,004,000 |                      |
|     |   | 総 務 関 係 費     | 700,000   | 583,615   | 680,000   |                      |
|     |   | 会 議 費         | 300,000   | 195,815   | 300,000   | 総会、理事会、委員会（総務・広報・交流） |
|     |   | 資 料 作 成 費     | 120,000   | 118,000   | 120,000   | 総会資料                 |
|     |   | 報 奨 費         | 60,000    | 49,800    | 40,000    | 新入会員紹介               |
|     |   | 青 年 部 育 成 金   | 120,000   | 120,000   | 120,000   |                      |
|     |   | 顧 問 料         | 100,000   | 100,000   | 100,000   | 財務顧問料                |
|     |   | 広 報 関 係 費     | 209,000   | 48,957    | 209,000   |                      |
|     |   | 制 作 費         | 100,000   | 0         | 100,000   | プレス会報                |
|     |   | 刊 行 物 購 入 費   | 37,000    | 16,620    | 37,000    | 新聞、専門誌               |
|     |   | 刊 行 費         | 72,000    | 32,337    | 72,000    | プレス会報送料他             |
|     |   | 交 流 関 係 費     | 3,749,000 | 4,325,076 | 4,195,000 |                      |
|     |   | 懇 親 会 経 費     | 1,160,000 | 1,727,632 | 1,630,000 | 総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会     |
|     |   | 交 流 懇 話 会 経 費 | 20,000    | 11,344    | 20,000    | 経営者懇話会               |
|     |   | 団 体 加 入 費     | 2,569,000 | 2,586,100 | 2,545,000 | 日金協、ものづくり振興協会等       |
|     |   | 経 営 関 係 費     | 390,000   | 401,840   | 360,000   |                      |
|     |   | 会 議 費         | 40,000    | 29,380    | 40,000    | 委員会（経営・労務）           |
|     |   | 講 演 会 経 費     | 130,000   | 154,180   | 100,000   | 講師謝金、会場費             |
|     |   | H P 維 持 管 理 費 | 220,000   | 218,280   | 220,000   | 接続料、HP 更新料他          |

(単位：円)

| 科 目 |   |                 | 平成19年度    | 平成19年度    | 平成20年度    | 備 考               |
|-----|---|-----------------|-----------|-----------|-----------|-------------------|
| 大   | 中 | 小 科 目           | 予 算 額     | 決 算 額     | 予 算 額     |                   |
|     |   | 労 務 関 係 費       | 480,000   | 645,834   | 630,000   |                   |
|     |   | 労 務 改 善 費       | 80,000    | 0         | 150,000   | 雇用管理研究会（5回）       |
|     |   | 競 技 会 経 費       | 400,000   | 645,834   | 480,000   | 地引き綱、家族ハイキング      |
|     |   | 安 全 関 係 費       | 640,000   | 612,364   | 150,000   |                   |
|     |   | 会 議 費           | 40,000    | 17,592    | 40,000    | 委員会（安全・技術）        |
|     |   | 安全研修経費          | 100,000   | 195,420   | 60,000    | プレス安全・環境大会        |
|     |   | 安全意識高揚経費        | 500,000   | 399,352   | 50,000    |                   |
|     |   | 技 術 関 係 費       | 1,710,000 | 1,224,711 | 1,900,000 |                   |
|     |   | 見 学 会 経 費       | 10,000    | 24,885    | 200,000   |                   |
|     |   | 学 習 援 助 費       | 600,000   | 354,443   | 600,000   | 技能検定準備講習会         |
|     |   | 検 定 経 費         | 1,000,000 | 745,383   | 1,000,000 | 技能検定経費、設備使用料      |
|     |   | 顧 問 料           | 100,000   | 100,000   | 100,000   | 技術顧問料             |
|     |   | I S O 推 進 委 員 会 | 930,000   | 1,737,546 | 880,000   |                   |
|     |   | 会 議 費           | 90,000    | 90,481    | 90,000    | 委員会               |
|     |   | 調査研究・資料作成費      | 120,000   | 111,350   | 120,000   | ISO 旬報、セミナー派遣     |
|     |   | 見学・研修会経費        | 720,000   | 1,535,715 | 670,000   | 内部監査員養成及び品質改善セミナー |



(単位：円)

| 科 目 |   |                  | 平成19年度     | 平成19年度     | 平成20年度     | 備 考              |
|-----|---|------------------|------------|------------|------------|------------------|
| 大   | 中 | 小 科 目            | 予 算 額      | 決 算 額      | 予 算 額      |                  |
|     |   | 管 理 費            | 11,227,000 | 11,442,906 | 11,388,000 |                  |
|     |   | 職 員 給 料          | 2,460,000  | 2,405,290  | 2,490,000  | 1 名              |
|     |   | 顧 問 料            | 3,960,000  | 3,960,000  | 3,960,000  | 1 名              |
|     |   | 福 利 厚 生 費        | 420,000    | 509,248    | 490,000    | 社会保険料、労災保険料、健康診断 |
|     |   | 旅 費 交 通 費        | 635,000    | 823,845    | 788,000    | 通勤費、出張旅費、連絡交通費   |
|     |   | 通 信 費            | 660,000    | 438,388    | 480,000    | 電話料、郵便料、運送料      |
|     |   | 消 耗 品 費          | 1,010,000  | 1,028,255  | 1,010,000  | OAリース料、事務消耗品     |
|     |   | 印 刷 費            | 30,000     | 49,000     | 30,000     | コピー紙、封筒、名刺等      |
|     |   | 図 書 費            | 30,000     | 75,170     | 30,000     | 参考図書             |
|     |   | 什 器 備 品 費        | 42,000     | 170,083    | 120,000    | OA機器メンテ料         |
|     |   | 光 熱 費            | 240,000    | 250,013    | 240,000    | 電気、水道料           |
|     |   | 賃 借 料            | 1,440,000  | 1,440,000  | 1,440,000  | 事務所借料            |
|     |   | 慶 弔 費            | 120,000    | 65,428     | 120,000    | 祝儀、香典            |
|     |   | 交 際 費            | 120,000    | 143,669    | 120,000    | 接待費、会議等参加費       |
|     |   | 雑 費              | 60,000     | 84,517     | 70,000     | 振込手数料、登記料        |
|     |   | 積 立 金 支 出        | 200,000    | 200,000    | 200,000    |                  |
|     |   | 退職給与積立金          | 200,000    | 200,000    | 200,000    |                  |
|     |   | 予 備 費            | 80,000     | 0          | 50,000     |                  |
|     |   | 予 備 費            | 80,000     | 0          | 50,000     |                  |
|     |   | 当 期 支 出 合 計(C)   | 20,315,000 | 21,222,849 | 20,642,000 |                  |
|     |   | 当 期 収 支 差 額(A-C) | 0          | 459,140    | 0          |                  |
|     |   | 次期繰越収支差額(B-C)    | 17,796,913 | 18,256,053 | 18,256,053 |                  |

平成 20 年度 経営・労務研究会 シリーズ第 2 弾

ぜひとも知っておきたい

中小企業の賃金相場と賃金管理のポイント

「従業員がなかなか定着しない。もう少し賃金水準を上げなければならないのだろうか？」

「昇給は何を基準に決定すればいいのだろうか？」「自社の賃金水準は高いのか？低いのか？」

こうした賃金に関する悩みをお持ちの経営者は非常に多いのではないのでしょうか。

今回のセミナーではこうしたお悩みを解消するため、「ズバリ！実在賃金」(関西版)を作成した社会保険労務士が、関西の賃金相場と中小企業の賃金管理のポイントを詳しく解説します。

日 時 6月24日(火) PM2:30 ~ PM5:00

場 所 たかつガーデン3階「菊」(大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL06-6768-3911)  
(近鉄上本町駅徒歩3分・地下鉄谷町九丁目駅徒歩6分)

参加費 無 料

定 員 20名(定員になり次第、お申込順にて締切とさせていただきます)

内 容 1. これが実態！関西の賃金相場  
2. これが実態！中小企業の労務問題  
3. これからの中小企業の賃金管理のポイント  
(内容については、若干変更になることがあります。)

講 師 田中 義郎氏(社会保険労務士 社会保険労務士法人エイチ・アール・エム代表社員)  
プロフィール 野村證券株式会社勤務を経て、平成10年人事労務コンサルティング会社(有)エイ・アール・エム設立。平成18年社会保険労務士法人エイ・アール・エム設立。  
北見昌朗主催北見塾1期生。大阪・神戸を中心としてオーナー中堅・中小企業を対象に賃金・労務コンサルタントとして活躍。中小企業にピッタリの賃金・労務管理に絶大な信頼を得ている。 詳しい情報はこちら → URL: <http://www.hrm-t.com/>

FAX 06-6762-7633

6月24日(火)のセミナーに参加します。

|                 |  |             |                                                           |
|-----------------|--|-------------|-----------------------------------------------------------|
| 会社名             |  | 役 職         |                                                           |
| お名前             |  | ご連絡先<br>TEL |                                                           |
| E-Mail<br>(FAX) |  | 会場案内図       | <input type="checkbox"/> 要<br><input type="checkbox"/> 不要 |

お問合せ：(社) 大阪金属プレス工業会 06-6762-8629 (担当：池田まで)









## ISO推進委員会

### まえがき

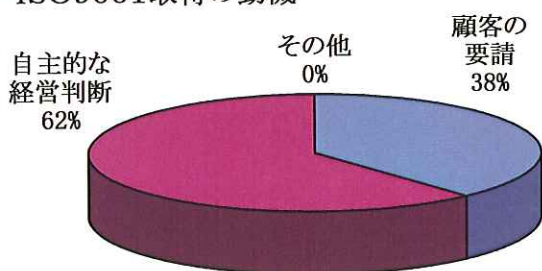
ISO推進委員会は2003年に創設され、丸5年が過ぎました。この間、会員企業様のISO9001、ISO14001認証取得を推進するとともに取得企業の維持管理、啓蒙、有効性評価などを学んできました。新年度は新体制で、ISO旬報の発行や品質向上セミナーの開催、ISO内部監査員養成講座など、会員企業様のお役に立つ情報の発信を行って参ります。また、このISO旬報も委員が持ち回りで紙面を作りバラエティーに富んだ、分かりやすく有効な情報源となるよう努力いたします。これからもぜひお読みいただきますようお願い申し上げます。

ISO推進委員会 委員長 藤田格平

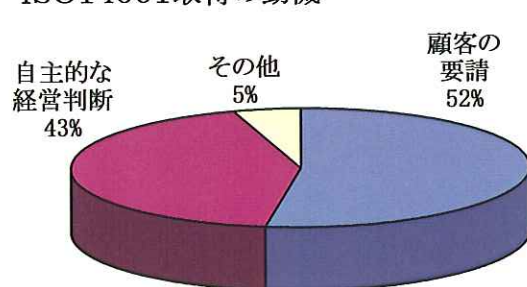
## アンケート集計結果を見て

### 認証取得の動機

#### ISO9001取得の動機



#### ISO14001取得の動機



このISO9001取得の動機の結果に驚いています。筆者の会社では品質を保証する先は、製品の納品先である顧客であり、保証書類の提出も義務付けられています。また、それらの品質書類そのものの保証をISO9001認証企業であり、品質マネジメントシステムに則った体制で作成した書類であることで保証しています。

自社製品の場合、保証先は一般使用者であり、PL法(製造物責任法)に基づき責任保証されているのかも知れません。

### 顧客の要求、外注先への要求

では顧客がISO9001の取得を要求しているか、と言うとそうでもないとの回答が返ってくると思います。何故か、取得には多額の費用が掛かりそれをコストに反映されては困るからです。だから品質保証体制を問うてこられると思います。取得企業はこの点を認証書のコピーを提出するだけで終わります。未取得なら種々の体制チェックを要求してくるでしょう。何故ならISO9001で仕入先の評価を要求しているからです。顧客も自社製品の品質保証するためには仕入先、仕入れ品の品質保証が必要だからです。

## 品質保証体制チェック項目

では具体的に顧客が要求してくる内容は？

守秘義務があり顧客のものを掲載は出来ませんがプレス品納入の一般的事項を下記にまとめましたので自社の品質保証体制がどうであるか、評価してみてください。  
ISO9001の未取得企業で、評価が低いと判断されれば、認証取得への挑戦をご検討をお願いします。



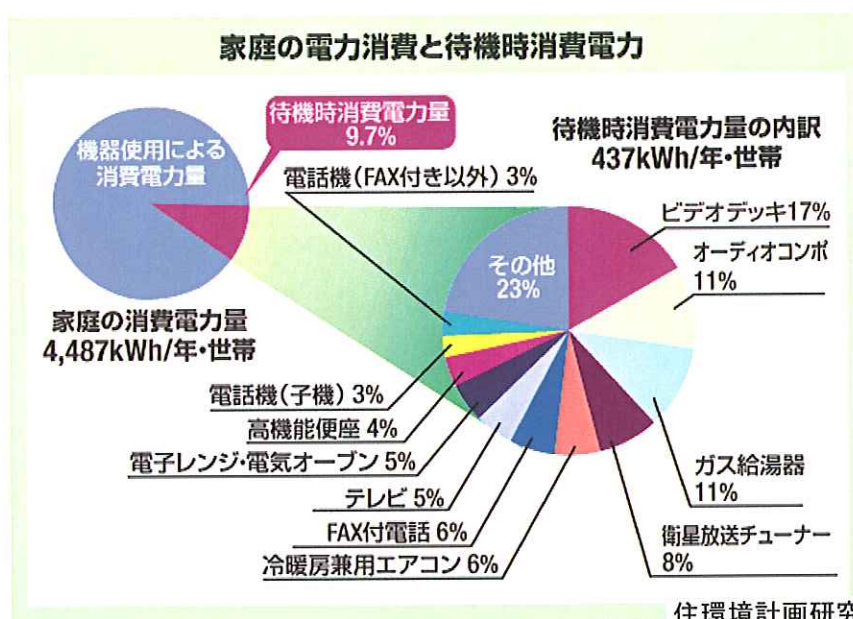
| NO | 項目             | 内 容                              | 項 目                                                                                                                                                                                          | コメント                                        |
|----|----------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1  | 組 織            | 責任と権限                            | 組織が明確(組織表)になっている<br>責任と権限が明確になっている<br>品質方針がある<br>品質向上計画がある<br>品質向上計画の実績をトップへ定期的に報告されている                                                                                                      | 組織体制<br>責任と権限<br>品質方針<br>品質目標<br>マネジメントレビュー |
| 2  | 品質システム         | 品質体制と基準                          | 品質保証体制の確立と役割分担が明確になっている<br>品質基準類(品質見本など)がある<br>定期的な見直し、改定されている<br>過去の実績のフィードバックにより、予防処置を実施している                                                                                               | 業務分掌<br>是正、予防処置                             |
| 3  | データの管理         | 規格、標準の管理                         | 品質保証の指示書類は、いつでも閲覧できる<br>社内外の規格、標準の最新版を台帳管理している<br>帳票、シート類は承認されている                                                                                                                            | 品質記録<br>品質文書<br>品質記録                        |
| 4  | 購買管理           | 契約、評価、指導                         | 仕入先との品質の取り決め契約を交わしている<br>仕入先の評価見直しを計画している<br>見直し計画に基づいて仕入先の評価を実施している<br>指導、教育、フォローしている                                                                                                       | 購買文書                                        |
| 5  | 製品の識別          | ロット管理                            | ロット管理手順書を作成している<br>手順書に基づいて管理を実施している<br>定期的な見直し、検証を行っている<br>納品書から製造ロットが判るか                                                                                                                   | 製品のトレーサビリティ                                 |
| 6  | 工程管理           | 品質基準<br>作業習熟<br>測定機器校正<br>工程能力把握 | 品質保証書類の展開、現場で最新の状態を維持している<br>重要ポイントを明確にしている<br>始業、定期点検を実施し、記録に残している<br>条件管理、上限、下限を明確にしている<br>破壊検査等を実施している<br>作業者の習熟度を評価している<br>工程能力を把握し、未達工程は改善して<br>変更管理はルールをきめ、遵守している<br>各項目の取り決め事項を実施している |                                             |
| 7  | 検査、試験          | 受入れ検査<br>工程内検査<br>完成品検査          | 新規立ち上がり部品を検査している<br>受入れ検査、工程内検査、完成品検査を実施している<br>検査機器類を台帳管理している                                                                                                                               |                                             |
| 8  | 計量、検査<br>機器の管理 | 管理基準                             | 計量器の精度基準と校正期間を明確にしている<br>始業点検を実施している                                                                                                                                                         |                                             |
| 9  | 検査の結果          | 受入品、仕掛品<br>完成品、出荷品の区別            | 工程飛びが発生させないため、左記の工程が明確で、<br>置場を分けし、表示している。                                                                                                                                                   |                                             |
| 10 | 不適合品<br>管理     | 不適合品の識別<br>手直し品の管理               | 不適合品(不良品)が良品と混在しない識別をしている<br>手直しと条件付き採用の取り扱いルールを決めている。<br>取決め通りの実施、帳票を作成している<br>工程内不良の改善結果をフォローしている                                                                                          | 特別採用品                                       |
| 11 | 是正・予防<br>処置    | 異常処理・<br>フィードバック                 | 品質異常情報のランクによる伝達ルートを確認にしている<br>異常処理基準を明確にしている<br>再発防止対策の実施と水平展開を行っている<br>遡及処理(ソキューショリ)を確認にしている<br>過去のトラブルを集計・分析し、フィードバックしている<br>市場クレーム低減活動を実施している<br>工程能力不足の改善活動を実施している                       |                                             |
| 12 | 取り扱い保管<br>保存   | 取り扱いについて                         | 異品混入、製品劣化に対する取り扱い・保管基準がある<br>取決め通りの実施し、帳票を作成している                                                                                                                                             |                                             |
| 13 | 品質記録保管         | 取り扱いについて                         | 帳票類は、必要なとき、必要な書類が閲覧できる。基準もある<br>取決め通りの実施、帳票作成している                                                                                                                                            |                                             |
| 14 | 品質監査           | 実施状況                             | 社内監査をする基準がある<br>取決め通りの実施し、帳票を作成している<br>指摘された改善結果をフォローしている                                                                                                                                    |                                             |
| 15 | 教育訓練           | 計画実施                             | 教育訓練計画がある<br>特殊工程の資格を認定している<br>教育評価基準がある                                                                                                                                                     |                                             |
| 16 | 統計的手法          | 分析・解析                            | 工程能力解析、QC手法を活用している                                                                                                                                                                           |                                             |





## 待機時消費電力で年間1万円の無駄使い

人のいない部屋の照明や誰も見ていないテレビのつけっぱなし、水やお湯の流しっぱなしなど、ついうっかりとエネルギーを浪費してしまいます。ところがそれ以外にも快適性や利便性を追求するあまり使ってしまったエネルギーもあります。それが待機時電力です。スイッチは切っていても、少しですが電気は消費されています。



家庭における電力消費のなかで、待機時消費電力は全体の1割を占める大きな値となっています。機器別に内訳を見ても、さまざまな機器で待機時消費電力が発生していることがわかります。きちんと対応することで、大きな効果が期待できると思われます。各家電メーカーもこの点を注目し利便性や快適性を損なうことなく省エネルギーに貢献するためにこの待機時電力の削減に取り組んで大きな成果を上げています。

| 家電機器における待機時消費電力削減の取り組み結果 |         |       |       |        |                   |
|--------------------------|---------|-------|-------|--------|-------------------|
| 製品名                      | 目標値     | 結果    |       |        |                   |
|                          |         | 対象機種数 | 達成機種数 | 達成率(%) | 待機時消費電力<br>平均値(W) |
| テレビ                      | 1W以下    | 230   | 230   | 100    | 0.4               |
| DVDプレーヤー                 | 1W以下    | 23    | 23    | 100    | 0.43              |
| ステレオセット                  | 1W以下    | 56    | 56    | 100    | 0.56              |
| CDラジカセ                   | 1W以下    | 19    | 19    | 100    | 0.75              |
| 電気炊飯器                    | 1W以下    | 114   | 114   | 100    | 0.74              |
| 洗濯機                      | 可能な限りゼロ | 105   | 105   | 100    | 0.02              |
| 電気衣類乾燥機                  | 可能な限りゼロ | 14    | 14    | 100    | 0.01              |
| 電子レンジ                    | 可能な限りゼロ | 46    | 46    | 100    | 0.05              |
| 家庭用エアコン                  | 1W以下    | 191   | 191   | 100    | 0.81              |

住環境計画研究所資料



## 何のマーク？「環境ラベル」

現在、私たちが手にする製品には、色々な情報を示すマークが表示されています。製品そのものや包装パッケージや素材、製造方法などに関する表示です。今回は環境省のホームページより抜粋紹介します。個々の意味は環境省のホームページを見ていただくか、旬報にて機会があれば載せたいと思います。

環境省マーク索引 <http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>

| ISOにおける名称及び該当規格               | 特徴                | 内容                                                                                                                                 |
|-------------------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タイプI (ISO14024)<br>“第三者認証”    | 第三者認証による環境ラベル     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三者実施機関によって運営</li> <li>・ 製品分類と判定基準を実施機関が決める</li> <li>・ 事業者の申請に応じて審査して、マーク使用を認可</li> </ul> |
| タイプII (ISO14021)<br>“自己宣言”    | 事業者の自己宣言による環境主張   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品における環境改善を市場に対して主張する</li> <li>・ 宣伝広告にも適用される</li> <li>・ 第三者による判断は入らない</li> </ul>          |
| タイプIII (ISO14025)<br>“環境情報表示” | 製品の環境負荷の定量的データの表示 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合格・不合格の判断はしない</li> <li>・ 定量的データのみ表示</li> <li>・ 判断は購買者に任される</li> </ul>                     |

### ＜環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベル＞ タイプ I

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

### ＜企業の取組における環境ラベル＞ タイプ II

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|

<企業の実践における環境ラベル>

|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |                                                                                   |                                                                                    | ++++++                                                                              |

<地方自治体の環境ラベル>

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |    |    |    |    |
|   |   |   |    |   |   |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |



### <地方自治体の環境ラベル>

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

### <世界の主要な環境ラベル>

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

### <表示識別マーク・その他のマーク> 「環境ラベル」と異なる

|                       |       |        |    |       |  |
|-----------------------|-------|--------|----|-------|--|
|                       |       |        |    |       |  |
| Ni-Cd                 | Ni-MH | Li-ion | Pb | ∞ PVC |  |
| 記号  があわせて表示される場合があります |       |        |    |       |  |
|                       |       |        |    |       |  |





社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)